

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム (2016年7月版) | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オーブンレジデンシア瑞穂区桜見町一丁目新築工事	階数	地上15F
建設地	名古屋市瑞穂区桜見町一丁目1番3、1番9、1番13、1番14、1番16、1番18、1番19	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域・防火地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2023年11月15日
敷地面積	969 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	411 m <sup>2</sup>	確認日	2023年11月15日
延床面積	4,464 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

- 建設: 100%
- 修繕・更新・解体: 81%
- 運用: 81%
- オンサイト: 81%
- オフサイト: 81%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.4

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.3

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	快適な室内環境、耐用年数、環境負荷低減を考慮している。	その他 特になし
Q1 室内環境	開口部遮音性能T-2を採用し、室内環境の品質を高めた。	Q3 室外環境(敷地内) できる限り緑地、植栽を設けた。
LR1 エネルギー	断熱等級4を満たす等設備システムの効率化に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量が一般的な建物と同等となるように配慮した。
Q2 サービス性能	十分な耐用年数をもつ給排水配管の材料を選定した。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を利用し、資源の有効活用に向けた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 重点項目スコア・結果シート

(仮称)オープンレジデンシア瑞穂区桜見町一丁目 新築工事

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
<b>1. 温暖化対策</b>				<b>3.6</b>
LR1	エネルギー	3.7	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>				<b>2.3</b>
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
<b>3. 循環型社会</b>				<b>2.9</b>
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

## 結果

<b>1. 温暖化対策</b>	評価点 = 3.6
	
<b>2. 自然共生</b>	評価点 = 2.3
	
<b>3. 循環型社会</b>	評価点 = 2.9
	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。